

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果  
(保育所等)

1 評価機関

名 称	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク
所 在 地	千葉県船橋市丸山2-10-15
評価実施期間	令和7年5月15日 ~ 8年2月5日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	聖華みどり保育園 セイカミドリホイクエン		
所 在 地	〒270-1153 千葉県我孫子市緑1-6-2		
交 通 手 段	JR我孫子駅より徒歩6分		
電 話	04-7182-1059	FAX	04-7182-1089
ホームページ	<a href="https://seikamidori.com/">https://seikamidori.com/</a>		
経 営 法 人	社会福祉法人樹		
開設年月日	2023年4月1日		
併設しているサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育</li> <li>・夜間延長保育</li> <li>・産休明け保育</li> <li>・園庭開放</li> <li>・マイ保育園</li> <li>・育児相談</li> <li>・赤ちゃんステーション設置</li> <li>・AED設置</li> </ul>		

(2) サービス内容

対象地域	我孫子市在住者								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	15	20	20	20	22	23	120		
敷地面積	1161㎡			保育面積		822.91㎡			
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	日々の健康観察・身体測定(毎月)・各種健康診断								
食事	完全給食(食物アレルギー除去食提供あり)								
利用時間	7:00~20:00(月~金)・7:00~18:00(土)								
休 日	日曜・祝日・年末年始								
地域との交流	幼保小の連携・園庭開放・小中学生職場体験								
保護者会活動	無								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
		25	13	37
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	28	1	1	
	保健師	調理師	その他専門職員	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	当園にて空き状況を確認の上、我孫子市役所子ども部保育課、もしくは園に直接お申し込みください。		
申請窓口開設時間	月曜日～金曜日（祝日除く）・午前9時～午後17時迄		
申請時注意事項			
サービス決定までの時間	入園決定者には、保育実施希望月の前月中旬頃に我孫子市役所子ども部保育課より通知があります。		
入所相談	入園に関するお問い合わせは我孫子市役所子ども部保育課まで、空き状況や園生活に関することについては保育園までお問い合わせください。		
利用料金	我孫子市の基準により世帯の所得税や市民税の課税額などによって決められます。		
食事料金	3歳以上児 月額6,700円		
苦情対応	窓口設置	有	
	第三者委員の設置	有	

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・養護と教育が一体となって、豊かな人間性を持った子どもを育成する</li> <li>・健全な心身の発達を図ることを基本に、遊びを通して心身の発達を援助する</li> <li>・愛情豊かに一人ひとりと触れ合う</li> </ul> <p>【保育目標】</p> <p>「丈夫な体」 よく食べ、よくあそび、よく寝て、健康で明るい子どもを育てる。運動遊び、散歩、園外保育等でたくさん体を動かし、又、食育や保健教育にも力を入れる。</p> <p>「広い社会性」 将来、子どもたちが社会で円滑に人間関係を築き維持できるよう、愛情あふれるコミュニケーションを通して、協調性や思いやりの心を育てる。</p> <p>「豊かな情操」 多くの本物の体験にふれながら、小さな感動を積み重ねることによって感性を磨く。</p> <p>「確かな基礎能力」 誕生から就学までの長期的視野を踏まえ、表現や制作、基礎能力形成、就学前教育など、発達の道筋が持てるようにする。</p>
<p>特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築50年以上の2階建ての園舎は、定期的に改修等のメンテナンスを行っており、古さの中にも温かみがあります。また、園庭が広いことに加え隣には神社があり、四季を十分に感じながら戸外活動など伸び伸びと楽しめる広さがあり、子どもたちの遊びの幅が広がります。</li> <li>・我孫子の豊かな自然環境の中で、様々な遊びや体験を通して、友だちや保育士と喜びや達成感を味わいながら、共有、共感することで、豊かな感性や社会性を養い生きていく力を育みます。</li> <li>・乳児期では子どもひとり一人の思いに寄り添った、丁寧で応答的な関わりを大切にしています。また、幼児期では自分たちで考え工夫しながら、遊びや活動が展開できるよう見守り、主体性や社会性、自己肯定感の育ちに繋げています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我孫子駅より徒歩6分と便利な立地にあり、周辺には住宅、隣には神社があり、自然に恵まれた静かな環境の保育園です。</li> <li>・ICT化としてコドモンを導入し、連絡帳、登降園管理、手紙やお知らせ等の配信、アンケート配信、集金等を行っています。</li> <li>・利用者に合わせた保育の提供として、7時から19時までの延長保育、19時から20時までの夜間延長保育を実施しています。</li> <li>・聖華グループ職員の合言葉“Smile Enjoy Imagine Kind Active”をモットーに、笑顔で、楽しく、想像力をもって、思いやりの心で、活発に、子どもや保護者の皆様、職場の仲間と関わり、明るく元気な雰囲気とチームワークあるクラスづくり、園づくりを目指しています。職員は優しい保育を心がけ、子どもたちのワクワク、ドキドキする気持ちを共有共感しながら、子どもたちの成長に寄り添います。</li> </ul>

利用（希望）者  
へのPR

・3歳児より、異文化に触れる経験や体を動かす楽しさを味わうことを基本に、週1回、専門の講師を招いて英語や体育指導を行っています。また、就学前教育や科学あそび等、適時期に適切な教育を行い、養護と教育をバランスよく取り入れた保育を目指しています。

・四季折々の伝統行事に触れることにより、豊かな心を育てます。

・保護者の方々とのコミュニケーションを大切にしています。お子さまの日々の様子を伝え、一緒に成長を喜びながら信頼関係を築いています。また、相談しやすい雰囲気づくりを心掛け、安心してお仕事ができるように、子育てのサポートに努めています。

・看護師はお子様日々の様子を観察し、体調管理を行っています。また、園内の衛生管理に努める他、専門職として育児相談も随時、受け付けています。

・給食は外部業者に委託していますが、自園で調理し提供しています。アレルギー児には除去食で対応しています。また、栄養士による栄養相談も随時、受け付けている他、食育活動にも力を入れ、バラエティ豊かな行事食や手作りおやつを提供しています。

・園のホームページでは、保育方針や施設紹介、日常の保育の様子等、情報の発信を行っている他、災害時にはコドモンや災害伝言ダイヤル等にて安否情報を発信する態勢をとっています。

聖華みどり保育園ホームページ  
<https://seikamidori.com/>

**福祉サービス第三者評価総合コメント**  
**聖華みどり保育園**

ヒューマン・ネットワーク

特に力を入れて取り組んでいること
<p>1. 自然環境を活かした様々な遊びや豊かな経験活動を通し、全職員でこどもの健やかな成長を目指している。</p> <p>園には築山のある園庭、隣には神社もあり、自然に恵まれた環境である。庭では野菜の栽培や虫探しなどが盛んであり、身近な自然に触れながら様々な遊びへと広がっていく姿が見られている。また、年間を通して伝統行事や食育にも力が注がれ、こどもが楽しめる経験活動も豊富である。さらに英語・体育・科学遊びなどのカリキュラムもあり、こどもが興味を持って取り組めるよう工夫されている。職員は法人の理念である「Smile Enjoy Imagine Kind Active」を合言葉にこどもの心身の健やかな成長を目指しており、常にこどもと楽しく遊ぶ中で耳を傾け心に寄り添う保育を大切にしている。この職員の姿勢は園長をはじめとする園の姿勢が職員の意見に耳を傾け、任せることに起因しており、アンケート結果での保育に対する保護者の満足度も大変高い。これらの積み重ねは園の目標達成に向け大きく寄与している。</p>
<p>2. 園全体で保護者とのコミュニケーションを丁寧に図り、保護者との信頼関係を築いている</p> <p>入園時の保育体験や保護者会、保育参観や個人面談などを定期的実施し、保護者と意見交換をおこなっている。話された内容については記録に残し、職員間で共有できる体制を整えている。また、保護者からの直接の相談や連絡帳を通しての相談などについても速やかに対応する体制が整っている。0・1歳児は、連絡アプリの連絡帳機能を活用し、日々の様子について保護者と丁寧なやり取りをおこない、2歳以上児は、ドキュメンテーションや動画配信を通して、保育の様子を分かりやすく伝えている。さらに、送迎時には直接保護者と会話を交わし、こどもの日々の様子や成長について共有している。連絡アプリやSNSを活用し、食育や行事などの活動内容を分かりやすく配信すると共に、行事後にはアンケートを実施し、保護者の意見を今後の保育や運営に反映している。今回実施した第三者評価アンケートでは「満足以上回答」が97%であり、中でも「大変満足」が65%と極めて高い評価を得ており、自由記述も職員の関わりや園の雰囲気に対する肯定的な意見が多く寄せられている。日頃から園全体で保護者とのコミュニケーションを丁寧に図り、信頼関係を築いていることがうかがえる。</p>
<p>3. 職員の主体性を尊重した、働き易く働き甲斐のある職場が実現している</p> <p>園長の方針は職員の主体性を大切に「やりたいことをやってみなさい」とチャレンジする環境を整え、意見の言い易い雰囲気を作り、職員の「やりたい保育」が実現できるよう園全体の協力体制を築くよう取り組んでいる。職員からも「相談しやすい環境ができて」「工夫の中で質を上げている」「一生懸命保育に従事し、仕事に対して前向きな姿勢を感じている」など意見が多く寄せられ、働き易い・働き甲斐のある職場が実現している。職場環境の改善が保育理念「豊かな人間性を持った子どもを育成する」に一步近づき、生き生きとした子どもの成長や保護者との会話増につながり信頼関係の向上に繋がっていると思われる。今後さらに保育理念や方針・目標の実践が深まり、職員の成長を期待したい。□</p>
<p>4. 保育園の機能を活かした様々なサービスを提供し、地域との繋がりを深めながら子育て支援に積極的に取り組んでいる</p> <p>園では、園庭開放・電話相談・園見学・保育体験を実施し、医療機関や行政機関、発達支援機関と連携を図りながら地域支援をおこなっている。また、市の幼保小連携会議・小学校との交流・小中学校の体験学習の受け入れ・地域ボランティアや近隣施設との交流・神社のお祭り参加など、地域との繋がりを深めている。さらに、マイ保育園事業・赤ちゃんステーション・育児相談など、子育て支援の取り組みも積極的におこなっている。園長は市の委員会や園長会に参加し、地域ニーズを把握しながら子育て支援センターと連携し情報共有を図っている。保育園は園の機能を活かした様々なサービスを提供し、地域との繋がりを深めながら子育て支援の体制作りに取り組んでいる。</p>

さらに取り組みが望まれるところ

1. 遊びの連続性や発展性を大切にするための、さらなる取り組みに期待する

今年度は保育日誌の書き方について学びを重ね、遊びの連続性に視点を置き、明日に繋がる保育を目指してきた。その結果、少しずつではあるが、こどもの姿に対する職員の思いや遊びを継続するための環境について、気づきの目が養われつつある。今後はさらにその遊びの連続性が、こどものどんな発達に繋がるのか、そのためにはどんな環境や職員の配慮が必要なのかについて学びを重ねていく事が望まれる。保育所保育指針にある非認知能力や小学校に上がるまでに育てほしい10の姿などを参考にしながら職員間で共有し、視点を明確にして保育を進める事で、日誌の書き方にもさらなる変化が期待できる。さらには保護者にも知らせる事で、一層の保育の質向上に繋げるよう期待したい。

2. 保育に熱心で質の高い保育を目指している職員が多いが、職員確保など職場環境の改善が望まれる

職員アンケートの意見では、保育に熱心で情熱をもち努力を惜しまず質の高い保育を目指している職員が多く、こどもを第一に考えこどもを中心とした保育環境の構築に向け、話し合いや指導計画の作成、日々の保育記録に懸命に取り組んでいる。一方で職員アンケートでは「人手不足」「仕事の簡素化」「休みやすい環境」等の意見があり、職員確保など職場環境の改善にさらに努めていくことが望まれる。

(評価を受けて、受審事業者の取組み)

第三者評価を受けて、保護者のアンケートでは多くの満足をいただけている事を大変ありがたいと思います。また、私たちが日々取り組んでいることを多方面から見ていただき、良い評価と今後の課題や保育の質の向上に向けて、具体的な取組み等のアドバイスをいただきました。その中で特に取り組みたいことは、まず保育士のスキルアップとして、PDCAサイクルが翌日の保育に活かされることです。子どもがより主体的に遊びを展開していけるよう「小学校に上がるまでに育てほしい10の姿」を職員みんなで見直しながら保育に反映できるよう努めていきます。また、働きやすい職場づくり、職員が主体性とやりがいを持って働ける職場づくりを目指しながら、引き続き、コミュニケーションを大切に風通しの良い風土作りに努めていきます。

福祉サービス第三者評価項目（聖華みどり保育園）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目	
				回数実施数	回数実施数
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	
	2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7	
			4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備  職員の質の向上への体制整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	
			7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	
			8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5	
10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。			3		
1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示  利用者満足度の向上  利用者意見の表明	11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4		
		12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4		
		13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4		
2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み  提供する保育の標準化	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3		
		15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4		
3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2		
		17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4		
II 適切な福祉サービスの実施	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価  項目別実施サービスの質  子どもの健康支援  食育の推進	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	
			19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	
			20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	
			21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	
			22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	
			23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	
			24 身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	4	
			25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6	
			26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	6	
			27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	4	
			28 家庭との連携が十分図られている。	3	
			29 地域社会との連携が十分図られている。	3	
			30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	3	
			31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	
			32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4	
5 安全管理	環境と衛生 事故対策 災害対策	33 食育の推進に努めている。	5		
		34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3		
		35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4		
6 地域	地域子育て支援	36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6		
		37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5		
計				159	0

## 項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目  整備や実行が記録等で確認できる。  確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>法人の「職員ハンドブック」に明示し、新規採用者には新人教育で理解を深め、園では年度初めの全体会議で読み上げ、基本理念や保育方針、保育目標を再確認している。「愛情豊かにこども一人ひとりと触れ合う」ことを大切に、こどもが主体となって活動できるような保育内容の充実を図っている。基本理念・方針・目標を基に職員の具体的な取り組みを会議等で話し合い、改善と工夫を重ねながら日々実践に努めている。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育理念・保育方針は入園のしおり(重要事項説明書)に記載され、園見学時に丁寧に説明をおこなっている。また、保護者会や保育参観などの機会に理念に沿った取り組みを伝えている。具体的な取組は毎月の園だよりやクラス便りを発行し、アプリや連絡帳、送迎時の会話等で日々のこどもの成長を保護者と共有している。今回実施した保護者アンケートでは「保育目標や方針について説明を受け、知っていますか」の設問に対し94%の方が肯定的に回答されており、園の努力が確認できる。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的の説明し、全職員に周知されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園長として就任2年目、前年度の反省を基に重点課題を明確にして取り組んでいる。今年度の重要課題は ①園長・主任・職員間のギャップをなくし、より連携のとれた保育を目指す。その為に職員との対話を大切に方向性の共有化を図ること ②「優しい保育」をさらに進め、研修や職員面談で保育士一人ひとりの課題を共有し、より丁寧な保育、こどもの思いに寄り添う保育を徹底することである。以上の2点を重要課題とし、「子どもと遊ぼう!～子どもの思いに寄り添う保育～」を年間テーマに設定し、事業計画に明示し全職員で取り組んでいる。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園長が職員の働きやすい職場にするために心がけていることは ①職員の主体性を大切にし、やりたいことにチャレンジする環境を整えること ②日常のコミュニケーションを大切にし、意見を出しやすい、風通しの良い職場づくり ③担当制ではあるが、他のクラスにもアンテナを張り、職員同士が協力し合うチーム ④一人ひとりの様子を気にかけて、一人で悩まないよう配慮すること ⑤職員の良い点を認め、誉め、意欲や自信につなげることなどに取り組み指導力を発揮している。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>全職員に配布されている「職員ハンドブック」に全国保育士会倫理綱領を挟み込み、行動規範として再確認している。全体会議で「保育者として子どもへの対応の仕方」を見直す研修をおこない、「子どもを尊重する保育」に向けて常に自己研鑽及び職員の意識統一に努めている。</p>	
6 事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園長、主任、事務長がそれぞれの役割の中でシフトの作成、有給休暇の取得、時間外労働等を把握し、働きやすい環境、休暇の消化促進を奨励している。また、定時の勤務終了、休憩時間確保に努め、育休中の就業時間や土曜勤務など個々の都合を理解し、リフレッシュ休暇などワーク・ライフ・バランスに配慮している。「上の方たちは、自分の体調やこどもの体調を気にかけて声をかけてくれ、寄り添って頂けてありがたい思いです」と職員自由意見にある通り、幹部職員が先頭立って働きやすい職場づくりに努め、その結果高い職員定着率につながっている。</p>	

7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>人事制度として職務グレード別に期待する職員像(キャリアパス)を明示し、職員は年2回、人事考課表のチェックリストを基に自己評価を実施し、園長、主任、副主任の幹部職員による3者面談を受けモチベーションの向上を図っている。人事評価は幹部職員共通理解のもとに行われ、助言を行いながら育成を図っている。職務成果主義による公平な評価制度の基、人事考課と連動した人材育成が行われている。</p>		
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>福祉系大学等で行われる就職説明会に参加し、ホームページに採用情報とともに、園の取り組みを動画で紹介し、求人広告への掲載、求人ポスターの作成など人材確保に努めている。園では実習生の希望が多く、今年度も1名が入职し、採用後はOJT主体で、現場でリーダー職員が丁寧に育成に努めている。看護師、栄養士等の専門職とともに、4名の保育補助職員、用務員など余裕のある職員体制に努め、職員間のコミュニケーションが良く、働きやすい園づくりにより長く勤めている職員が多い。</p>		
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>キャリアアップ計画に基づいた階層別に求められる専門性を明示し、新人研修、年齢別研修、専門分野研修など階層別研修が実施されている。また、市が開催することも発達センター体験学習などの研修や千葉県保育協議会東葛支部会によるこれからの保育、保護者対応、インクルーシブ保育、運動遊び、子どもの多様性などに職員は積極的に参加し、園内研修につなげ共有化している。OJT体制では新人には年齢が近く、相談しやすい職員を任命している。OJTチェック表をもとに取り組み、OJT会議を開催し進捗状況の確認や悩み等を話し合う時間を設け、丁寧に育成に努めている。</p>		
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的な人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
<p>(評価コメント)</p> <p>全職員が、「子どもの人権を守り、人権に配慮した保育」を大切にしたい保育を実践している。こどもの思いに寄り添いながら主体的に遊びが展開できるよう、日々の会話や会議にて振り返り、より良い保育が展開できるよう取り組んでいる。園長・主任・副主任等の幹部職員は各クラスの保育の把握に努め、適切なアドバイスを行なうとともに、現場に入り援助に努め、接遇マナーは入社時やOJT教育、面接など日々気が付いた時に指導している。</p>		
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
<p>(評価コメント)</p> <p>個人情報保護方針は入園説明会で「保育園のしおり(重要事項説明書)」を保護者に配布説明し同意を得ている。職員には就業規則で守秘義務として誓約書を取り交わし、年度初めの職員会議で職員の個人情報保護に対する認識を高め周知・徹底している。SNS対応を職員には徹底し、行事での対応を保護者にも依頼している。園のパソコンやタブレット端末はアクセス権を設定し、個人記録の記載された重要書類は鍵のかかる書庫に保管し、園外持ち出し禁止を徹底している。</p>		
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
<p>(評価コメント)</p> <p>保護者とのコミュニケーションを大切に、保護者が相談しやすい雰囲気づくりに心がけ、日々の送迎時や個人面談などで保護者の要望や相談を聞く機会を作っている。意見箱を設置し、保育参観や運動会、発表会等の行事後にアンケートを実施し意見や感想、質問等保護者の思いの把握に努めている。今回実施した第三者評価機関による利用者満足度調査では満足と大変満足を含めて97%と極めて高い評価であったが、自由意見では改善して欲しい点も出されており一層の信頼関係の構築を望みたい。</p>		
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育園のしおりに相談・苦情受付担当者、第三者委員と市区町村課名、電話番号を明記し、保護者には入園前説明会で周知している。玄関階段横にも同様のポスターを掲示している。ご意見箱の設置や運動会や発表会後にアンケートを実施し保護者の意見や要望を聞く仕組みを整えている。今回の保護者アンケートでは「苦情の窓口になっている職員を知っていて、言い易いですか」の質問に対して「はい」と回答された方は48%であった。分かり易い掲示の工夫や行事等の機会に繰り返し案内することが望ましい。苦情発生時は対応マニュアルに沿って園長・主任が素早い対応に取り組んでいる。</p>		

14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> 自己評価や第三者評価の結果を公表している。
<p>(評価コメント)</p> <p>法人の自己評価項目をもとに年間2回、職員が自己目標の設定及び評価をおこない、園長・主任・副主任を交えた4者との面談を実施している。面談では、あらかじめ管理職3者で職員の頑張っている点や課題について確認し合い、役割分担をしながら職員が前向きに課題を見いだせるよう伝え方を工夫している。保育の質の向上に向けては毎日の積み重ねを大切に週単位で振り返りをおこない、保育の連続性を重視した保育内容の話し合いができるよう、常にPDCAサイクルを意識した取り組みを心がけている。保育園の自己評価及び第三者評価結果はホームページに掲載予定である。</p>		
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 業務の基本や手順が明確になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル見直しを定期的に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル作成は職員の手参画のもとに行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>マニュアルに関しては法人のハンドブックを活用している。また、園独自マニュアルとしてデイリープログラム(日中及び延長保育)・神社での遊び方・庭や築山での遊び方などもあり、日々の中で基本や手順を明確にしながら職員が同じ姿勢で保育に当たれるようにしている。ハンドブックについては一人一冊配布されており、事務室にも置いてあるので、いつでも確認できる環境になっている。マニュアルの見直しについては危機管理等緊急性のある物は速やかに話し合いがおこなわれ、園独自の物は年間の反省時に、またハンドブックについては意見を吸い上げながら園長会で検討されている。</p>		
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。 <input checked="" type="checkbox"/> 問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育園の見学については我孫子市や園のホームページにて受付の情報が記載されており、予約制で月に基本2回7組程度の受け入れをおこなっている。見学については主に園長または主任が対応し、園内を見ていただくとともに保育方針及び保育内容や実際の過ごし方などについてなるべく具体的にイメージできるような説明を心がけている。園内見学後には質疑応答の時間も設け、保護者との対話を大切にしながら、わからないことなどについて丁寧に答えている。また、電話での問い合わせについても、その都度丁寧に対応するよう心がけている。</p>		
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
<p>(評価コメント)</p> <p>入園前には入園前面談及び入園説明会を実施し、説明会では重要事項説明書及び保育園のしおり、クラスのしおりをもとに、園長・主任・看護師・栄養士・担任が説明をおこなっている。また、必ず質疑応答の時間を設け、保護者からの疑問・質問には丁寧に答えながら不明な点がないよう心がけ、納得していただいた上で、同意書を提出してもらっている。同意書は意向確認のためのチェック項目を設け、保護者2名のサイン等をお願いしている。保護者からの聞き取り内容等については、記録し共有している。</p>		
18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあて作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>全体的な計画は法人の保育理念や保育目標、保育所保育指針に示された保育のねらい及び内容に基づいて作成されている。これに加え、保育園の地域性を考慮した豊かな自然を取り入れた保育や地域との連携に関する内容などについても載せて作成されている。また、全体的な計画は各年齢に具体化して下ろされるよう、年間計画や月の指導計画などに反映されている。見直しに関しては、幼児会議や乳児会議において保育の展開や環境設定など話し合い、保育の方向性を確認したり、上期・下期に評価反省しながらおこなわれている。</p>		
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。 <input checked="" type="checkbox"/> ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
<p>(評価コメント)</p> <p>全体的な計画をもとに、年間指導計画・月間指導計画・週間指導計画が作成されている。また、3歳未満児や配慮が必要な児に関しては個別指導計画が作成され、こども一人ひとりの状況に合わせた丁寧な保育を心がけている。各指導計画は定期的に振り返り見直しをおこなうことでPDCAサイクルが機能している。実践では今年度、保育日誌について学んでおり、振り返りの書き方について職員にアドバイスする事により、少しずつ子どもの姿や興味関心、職員の思いなどを書けるようになってきた。この積み重ねは明日に繋がる保育への視点となり、目指している保育の連続性・子どもに寄り添った保育の実現に寄与すると期待できる。</p>		

20	<p>こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 好きな遊びができる場所が用意されている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自由に遊べる時間が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>乳児組は緩やかな担当制を取り入れることで個別の関わりを大切にしており、幼児組においても一人ひとりの思いに寄り添った保育を心がけている。室内環境はこどもの興味や発達に応じて設定されており、自由に自分で選んで遊べる時間や環境も確保されている。今年度は幼児クラスにおいて盛り上がったお店ごっこが発展して幼児全体でのお店屋さんごっこに繋がった。職員はこどもの気持ちに寄り添いながら環境を整え、さらに乳児クラスの参加への要望も受け入れる事で、園全体の楽しい経験活動に広がっている。遊びの中では、こども主体で話し合ったり協力しながらお店や品物を作ったり、役割も分担するなど、楽しそうに遊ぶ姿が見られている。</p>		
21	<p>乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>0歳児クラスは担当制を取り入れることで一人ひとりの状況の変化にタイムリーに対応しやすく、細かな発達の様子に気づけるメリットがある。また、保護者との連携もスムーズであり、連絡帳や送迎時の情報共有の他、相談・支援などもしやすい関係性ができている。保育者はこどもに寄り添い、こどもの泣きや喃語を言語化しながら受け止め、応答的に関わる事を意識している。また、環境も見直しをおこない、いつでも遊べるように斜面台を設定するなど、こどもの興味関心や発達の変化に対応した見直しもおこなっている。こどもの情報共有に関しては栄養士や看護師とも連携しながらおこなうとともに、毎日の中でもクラスの職員全員で把握できるよう、情報交換の時間を設けている。</p>		
22	<p>1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。) <input checked="" type="checkbox"/> 周囲の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>緩やかな担当制を取り入れ、基本的な生活習慣についてはこども一人ひとりの状況に合わせて対応し、出来た時に褒めることを積み重ねて次への意欲に繋がるようにしている。発達段階に応じて興味を持てるような環境作りにも心がけ、髪を結ぶシュシュを使って靴下の上げ下げを遊びながら体得できるようにするなど、日々工夫もおこなっている。自我の芽生えへの対応としては、こどもの気持ちを言語化して寄り添い、気持ちを受け止めながらも少しずつ相手の気持ちに気づけるような関わりを心がけている。探索活動も盛んな時期なので、戸外遊びや散歩を多く取り入れたり、室内でも体を使って遊べる環境作りをするなど、五感を使った様々な遊びを心がけている。情報共有は毎日の中でおこない、申し送り表や連絡アプリ等を活用しながら保護者に丁寧に伝えられるよう配慮している。</p>		
23	<p>3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他のこどもと多様な関わりがもてるように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>基本的な生活習慣についてはこども一人ひとりを大切に、小さな成功体験を積み重ねながら新たな興味や挑戦心へ繋がるよう心がけている。フレンドリーデイと称した縦割り保育の機会や、日々の園庭での交流などを通じて、色々な友だちと遊ぶ中で受ける刺激も大切にしている。こどもの主体性を大切にする環境として、自由に選んで遊べる玩具や興味関心のある物を保育室内に設定し、マットを敷いたりついたてを立てたりして、遊ぶ場所を自分たちで作るところから出来るよう見守り、援助している。年長児については我孫子市も力を入れている幼児小連携の年間計画により、段階を踏んで就学への取り組みをおこなっている。学校とは年間を通じて連携を図り、小学校での楽しい体験活動の積み重ねや丁寧な引き継ぎなどにより、期待感を持って就学出来るよう配慮されている。</p>		
24	<p>身近な自然や地域社会と関わるような取り組みがなされている。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
<p>(評価コメント)</p> <p>築山のある園庭では様々な植物や虫に触れる機会があり、ダンゴムシや幼虫を見つけると保育室内で飼育したり、野菜の栽培もおこなっている。青虫の飼育では蝶にふ化させて外に離してあげるまでの過程で、写真を撮って保育室に貼ったり、こどもが図鑑で調べるなど、知的な興味関心へと繋がる機会も作っている。サツマイモ掘りや、プラネタリウム遠足・近くの園や姉妹園との交流・警察署との交流・小学校との交流・町内会の神輿担ぎへの参加など、地域の方々との関係性を大切にしながら、公共機関を利用しての様々な楽しい社会体験の機会もあり、変化と潤いのある保育が展開されている。</p>		

25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、こども達同士で解決するように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 異年齢のこどもの交流が行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>年齢別活動の他、異年齢での交流活動も意図的に取り入れており、こども同士の関わりの中では、相手の気持ちに気づけるような投げかけを大切にしている。その中の一つの取組みとして4、5歳児クラスにおいてはサークルトークの時間を設け、何かを決めるときなどに話し合いをおこなって発表し合うことで、相手の話を聞いたり、自分の考えを言ったりする経験が増え、成長に繋がっている。大人が決めてしまうのではなく、こども自身が考えたり話し合ったりして決めるルールが多いので、意識を持って守ろうとする姿が多い。こども間のトラブルに関しては、双方の気持ちを受け止めながら、一緒にどうしたらよいかを考えるようにしている。</p>		
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関わりに対して配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>職員加配のもと、クラスの員として同じ経験をしながら成長し合えるよう、個別と集団の両面の育ちを大切に保育をすすめている。こどもたちは配慮を必要とする子を自然に受け入れ、面倒を見てくれる姿が多い。また、状況に応じてクラスのこどもたちが仲間として上手に関われるよう話し合う時間を取ることもある。保護者の同意のもと、年3回こども発達センターの臨床心理士による巡回相談と、市の臨床心理士による保育相談を受けている。保育の様子を観察後カンパレンスを実施し、指導や助言をもらっている。巡回相談で受けた助言は保護者に還元し、場合によっては個人面談を実施しながら情報共有を図っている。配慮を必要とするこどもに携わる保育者はキャリアアップ研修・東葛支会の研修・こども発達センターの研修を受け研鑽している。</p>		
27	保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なるこどもと一緒に過ごすことに配慮している。
<p>(評価コメント)</p> <p>クラス毎の申し送り表を作成し、登降園のチェックや保護者・園からの伝達内容を記載し伝えたらチェックするなど、こどもの所在や伝達の確認漏れを防いでいる。また、遅番の申し送りが早番や必要な職員に引き継がれるよう、情報共有を図っている。正規職員においては年度初めに法人ハンドブックを用いて確認し、パート職員に対しても必要に応じて園長・看護師・栄養士から研修を実施している。利用人数が減る18時以降から少しずつ合同保育をおこない、異年齢でも安心して遊べるよう、家庭的な雰囲気大切にしながらゆったりと保育ができるように心がけている。現在19時からの夜間延長保育の定期利用者はいないが、急な利用時にはこどもが不安にならないよう、保育者が必ず付いて過ごすよう配慮している。</p>		
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>0、1歳児はアプリの連絡帳機能で保護者とやり取りをおこない、2歳以上児はドキュメンテーションや動画などで保育の様子を配信している。送迎時には直接保護者と話をしながら、こどもの様子などを伝えている。入園時の保育体験・保護者会・保育参観・個人面談などは定期的に実施しており、話された内容については記録に残し、共有できるようにしている。保護者からの直接の相談や連絡帳を通しての相談などについても速やかに対応する体制が整っている。こどもの家庭状況については入園前の個別面談で把握し、職員間で情報共有をしている。その中で、配慮が必要な家庭については通常の個人面談の他、必要に応じて園長も同席し、個別に話す時間を設けている。また、状況によっては市の関連機関を紹介したり、連携も図っている。</p>		
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などを保育所等から小学校へ送付している。
<p>(評価コメント)</p> <p>小中学校の体験学習は地域のこどもたちに保育園を知ってもらう機会として積極的に受け入れている。近隣へ園だよりの配布、月1回のおはなし会の方や、園の花壇を管理して下さっている花と緑の会のボランティアの方々、近隣スーパーへの買い物や職場見学、散歩などを通して地域の方々との交流を図っている。今年度は神社の方からお祭りの誘いがあり、こどもたちは御輿を担ぐ貴重な経験をした。また、市の幼保小連携会議に積極的に参加し、職員同士の交流を図っている。特に、年明けに実施される「育ちと学びをつなぐ会」では、進学先の小学校教諭に申し送る機会が設けられ、円滑な就学移行がなされる仕組みができている。保育所児童保育要録については保護者の了解のもと訪問又は送付している。</p>		
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>毎朝、受け入れ時の視診をおこない、こどもの様子を確認している。特に0、1、2歳児は健康状態の把握を含め、着替え時など必ず全身チェックをしている。いつもと違う様子があった場合には必ず、園長・主任に報告し、必要に応じて看護師や栄養士が介入し継続観察をおこない、日誌や児童票、ケース票などに記録したり、写真に収めるようにしている。また、虐待対応のフローチャートについても職員間で共有している。こども相談課・保健センター・こども発達センターなどの関連機関とはいつでも相談や連携がとれる状態になっている。</p>		

31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
<p>(評価コメント)</p> <p>保健指導カリキュラムを作成し、計画に沿って心身の健康状態や疾病などの把握に努め、記録をとっている。また、こども自身が健康について意識できるよう、クラス毎や集会などで保健指導をおこなっている。嘱託医による年6回の乳児健診、年2回の内科健診、歯科健診をおこなっている。園児を受け入れる際には保護者としてしっかり会話をし、些細な事でも伝えて頂き早期発見に努めている。また、0.1歳児は連絡帳に加え、保育中のこどもの様子をこまめに観察し、日誌に記録している。SIDSについては、法人ハンドブックに基づき園内研修を実施している。午睡時にはチェック表に沿って呼吸などの確認をし記録している。保護者に対しては保育園のしおりに明記し、入園説明会時に必ず説明をしている。</p>		
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>法人ハンドブックの感染症対策や緊急時対応方法については繰り返し園内研修をおこない、全職員が適切な対応ができるよう取り組んでいる。保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、こどもの状態に応じ、応急手当をすすると共に保護者へ連絡をしている。感染症やその他の疾病の発生予防として、日々清掃や消毒を徹底し、保健だよりなどで感染症についての知識の普及に努めている。感染症発生時には速やかに保護者へ掲示にて周知すると共に、嘱託医・市・保健所などに連絡・指示を仰ぎ、保護者に感染拡大防止への協力を依頼している。こどもの体調不良時は、保育室から隔離して休養できるよう、事務室内をパーテーションで仕切り休養スペースを確保している。</p>		
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じて、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
<p>(評価コメント)</p> <p>毎年、栄養士は食育年間計画を見直し作成している。毎月の給食会議では献立の反省、残食状況からこどもの状態・好き嫌い・偏食に関する反省・改善点を話し合い、次に繋がるよう努めている。野菜を育てることで収穫の喜びを知り、収穫した野菜を使ったクッキングなどを実施することで食に興味を持てるようにしている。また、行事食を提供し意味を伝えることで、日本の伝統文化に触れ食への興味関心を引き出し、食べ物を大切に作る気持ちや調理してくれた人への感謝の気持ちが持てるようにしている。訪問した日も干した柑橘の皮を入れた足湯を楽しむ5歳児の姿が見られた。アレルギー児については、保護者・園長・担任・栄養士・看護師・給食調理員で確認し、提供時には個別のお盆にネームプレートと確認書置いて、都度指差し確認をおこない、1人用テーブルを使用し、誤配誤食防止に努めている。</p>		
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育室には温湿度計・エアコン・空気清浄機・加湿器・扇風機・換気扇を備え、定期的に窓を開け換気をおこなっている。保育室は掃除リストに従って日々、清潔な環境を整え、子どもが安心して遊べるよう衛生管理に努めている。夏季は熱さ指数をこまめに確認し戸外遊びの注意喚起をおこなったり、適切な室温を保つようにしている。トイレ掃除の手順を作成し、適切な清掃をすることで感染拡大防止に努め、トイレ清掃消毒管理表を用いてチェックしている。職員や園児に対して、正しい手洗い方法を指導すると共に食事前の手洗いの大切さなど指導している。用務員を配置することで施設内外の掃除を徹底している。園長・主任は巡回の際、保育室の環境にも目を配り、その都度、片付けや清掃をおこなっている。</p>		
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 危険箇所点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
<p>(評価コメント)</p> <p>「事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」を定期的に見直している。消防署指導でABDや救命講習を実施し、事故発生時に速やかな対応ができるよう努めている。水遊び・食事・午睡中の危機管理対策については法人ハンドブックを活用しながら園内研修をおこなっている。受診を伴う怪我については事故報告書を作成することで事故原因を分析し、再発防止に繋げている。また、ヒヤリ・ハットについては会議で報告し、改善策も含めて記録に残している。不審者対策として防犯カメラの設置・エントランスのオートロック(24時間施錠)・警備会社との契約・市民安全課指導でさすまたの使い方の研修や不審者訓練をおこなっている。不審者侵入時の保護者への対応や伝達方法については連絡アプリで周知を図っている。毎月、施設及び遊具について安全点検表でチェックし、安全を確認している。</p>		

36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
BCPは毎年見直しをおこない、職員はいつでも手に取って見ることができるよう事務所に置いている。非常災害発生に備えて、役割分担や組織図を整備・周知し、事務所内に掲示している。避難経路図については日常的に確認できるよう廊下などに掲示することが望ましい。年間非常災害訓練計画に基づき毎月の避難訓練・年2回の通報訓練・年1回の保護者引き取り訓練をおこなっている。年1回の消防署の立会い訓練時には職員全員が消火訓練を実施している。また、市の災害マップを掲示し、保育課と連携を図りながら園周辺の状況などの把握に努めている。安否確認については、連絡アプリやSNS、ホームページ、NTT災害伝言ダイヤルで確認できるようにしている。災害伝言ダイヤルは、年2回練習日を設け、保護者に確認してもらっている。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
園長は市の保育推進検討委員会や私保連園長会に参加して子育てニーズの把握に努め、地域の子育て支援センターと連携し、情報共有を図っている。地域支援事業として週1回の園庭開放と平日の電話相談を実施している。また、保育園が地域の拠点となり市内に在住する就学前の子育て家庭や出産を控えている家庭の支援を目的とした「マイ保育園事業」を実施し、登録制で年6回、七夕の会や節分の会などの行事に参加してもらっている。さらに、赤ちゃんステーションの登録、AEDの設置、園長・看護師・栄養士による育児相談も受けている。			